



岩井よしえ Tel/Fax955-7340 深良 2706-2  
(ブログ、ツイッター、YouTube) 岩井よしえ  
yosie-820aug@purple.plala.or.jp



岡本かずえ Tel/Fax992-5174 茶畑 854-3E101  
(ブログ、ツイッター、YouTube) 岡本かずえ  
peace\_love\_cabird@yahoo.co.jp

# 明るい裾野

弱いひと 困っているひとの味方—直線の共産党

困ったことは岡本かずえ、岩井よしえのなんでも相談へ

① 9月議会報告(代表質問他) ② マイナンバー ③ 道路補修報告(2件) ④ 大場川の浚渫・草刈り

## 9月議会報告

9月議会では、代表質問に加え、2014年度の決算の審議やマイナンバー法の施行に伴い「裾野市個人情報保護条例」の全部を改正することや、子ども・子育て支援法の施行に伴う保育園の保育料を決めるなどの議案審議を行いました。その他の議案は、固定資産評価委員の選任、市道路線の認定、一般会計補正予算などで、概要を報告していきます。

## 2014年度(H26年度)

### 一般会計の決算状況

歳入総額 210億4,848万円

歳出総額 201億1,469万円

形式収支 9億3,379万円

繰越充当財源 2億8,786万円

実質収支 6億4,593万円

\*実質収支のうち、3億3千万円を地方自治法の規定により財政調整基金に積み立てる。

\*財政調整基金(貯金) 61億4,781万円

\*地方債現在高(借金) 198億3,882万円

◎政策的に税金の使い方に問題があり、決算の認定に反対の立場で4点を挙げて討論しました。(要旨)

## 平成26年度

### 一般会計決算の認定について 反対討論

- 1) 公共施設再編計画は経済効率・経費の削減の名の下で、縮小・廃止・民営化の方向ばかり強調しないで市民の声をしっかり聞くこと。
- 2) 滞納処分として、債権調査・差し押さえを強化したこと。分納相談に加え、税の軽減相談を周知することは条例の規定から可能であった。
- 3) 正規職員と同一の仕事しながら賃金に大きな格差がある臨時保育士。短期雇用で身分保障がなく、待遇改善が見られないのは問題。
- 4) 駅西区画整理事業の平成26年度全体進捗率は14.4%。(※当初計画では平成28年度に事業完了のはず) 駅西区画整理事業は、新道東側の先行街区のみに縮小すべき。西側は地区計画でまちづくりを。

### 代表質問(岡本かずえ議員)

#### 1. 小規模校のメリット最大化策

本年1月文科省の「公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引き」が公表されました。この手引きには、総務省の

地域から学校がなくなることによって地域コミュニティの衰退を懸念する意向が強



く反映されています。統廃合を行わない選択肢の記載が極めて充実しています。

裾野市には小規模校があります。総務省の「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の「小規模校のメリット最大化策」について教育委員会の見解を伺いました。

《教育長答弁》市では地域の特性を生かした学校づくりの視点から、小規模校では全員に活躍の場を与えたり、小規模校ならではのよりきめ細かな特色ある学校運営がなされている。市教委が各学校の特性を十分に活かし、地域と共に健全な学校運営に取り組んでいる状況を維持できるよう応援していきたい。

先日「子どもの学びを考えるワークショップ」＝より良い地域と学校との関係などについて意見交換＝が行われました。身近な地域での、継続した取り組みが期待されます。

## 2. 旧勤労青少年ホームは、引き続きまちの中の公共施設として活用するよう求めました。

市の答弁は、一番古い棟で築60年以上、増改築した棟で築30年以上経過しており、耐震性が低く補強も難易度が高い。ふれあい教室と筋力向上トレーニング教室を最後に、市民に解放する公共施設としての利用は考えていないというものでした。

でもふれあい教室が現在の移転先の建物を利用できるのは来年4月まで。その後はどうなる？

地域のみなさんの声を聞きながらまちの



中に必要な公共施設の提案をしていきます。

## 3. どの地域であっても安心・安全に住み続けるために、地域公共交通政策を取ることは、自治体が今最優先で取り組むべき課題です。

現在取り組まれている、「すそのーる」「葛山線デマンド型乗合タクシー実証実験」「高齢者バス・タクシー利用助成事業」の評価や課題について聞き、生活・福祉・教育を支える総合交通政策づくりを求めました。

「すそのーる」の利用者減少や実証実験に対する地域の合意形成の問題があること。高齢者バス・タクシー利用助成事業は重要な事業であると認識しているとのことでした。来年秋には車両(すそのーる)の償還期間を迎える事から、今後の裾野市の公共交通の在り方について検討していくとの答弁でした。

福祉政策と一体で作りに上げた交通システムの事例として、三重県玉城町の「元気バス」(デマンドバス)の紹介をしました。

## 問題だらけのマイナンバー

「行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律」いわゆるマイナンバー制度が10月5日施行されました。しかし10月に入り、通知カードが届く前から不審な電話、メールや手紙が届く、訪問などの報告があり、詐欺事件も発生しています。その上今度は厚生労働省職

員がマイナンバー制度関連のシステム業務の受注に便宜をはかるなどして収賄容疑で逮捕される事件も発生しました。

この制度については、以前から、日本年金機構が不正アクセスを受け日本年金機構の125万件にも及ぶ個人情報大量流出問題にみられるように個人情報の流出、なりすまし犯罪などの懸念が叫ばれていました。ひとたび情報漏えいすれば、なりすまし被害等で致命的な被害をうける恐れがあります。



裾野市では9月議会において、マイナンバー法施行に伴う「裾野市個人情報保護条例の全部を改正することについて」「手数料条例の一部を改正することについて」の議案が上程されました。裾野市個人情報保護条例の全部を改正することについては、本来個人情報を保護する条例であるはずが、それに逆行するような例外規定が「取得の制限」、「利用目的の明示」に盛り込まれています。実施機関が事業の遂行に支障を及ぼすと判断し、本人の知らない所で個人情報が取得され、集めた個人情報を当事者に利用目的も知らせずに、利用できる仕組みを条例を改正して盛り込んでいることは、その利用が際限なく広がる恐れもあり個人情報保護とは相反するものです。

また、マイナンバー制度の目的が所得や資産を掌握することで、税金の徴収強化や社会保険料の負担増をするとともに、

社会保障削減の手段にしようとしている点、預貯金や特定健診情報など機微性の高い個人情報に番号を付番して利用できるようにしたことは深刻なプライバシー侵害につながるものであることから日本共産党裾野市議団（岡本かずえ、岩井よしえ）は、上程されたマイナンバー制度施行に伴う2つの条例改正に反対をしました。

## 千福が丘 側溝の蓋補修完了



千福が丘1丁目付近で側溝の蓋が外れ、側溝横の道路が陥没するということが発生しました。連絡を受け確認に行ったところかなりひどい状況になっていましたので、土曜日でしたが、担当職員さんに連絡いたしました。当日のうちに応急対策をしていただき、数日のうちには補修工事が完了しました。原因は1日深夜の暴風雨により水

## 大場川(峰下地先・上の橋付近)浚渫・草刈り完了

泉川では鹿嶋橋付近で河川拡幅改修が行われ、舞台橋付近では浚渫・草刈りが行われていました。大場川も土砂堆積と、その土砂に草が生い茂っていましたが、県が草刈りと浚渫工事を峰下・上の橋付近で行い、きれいになりました。



かさが増えた為と考えられるそうです。あんなに重い側溝の蓋が外れてしまうことに驚きましたが、最近の雨の降り方には、十分な注意が必要だと改めて感じました。

(岩井よしえ)

## 峰下 道路穴修復完了



峰下・市ノ瀬地域はわき水が多く、わき水がアスファルトを持ち上げて剥がれてしまいます。見つけたら補修をお願いします。

(岡本かずえ)